



社団法人 日本助産師会 第8号

宮城県支部だより

- 1、ごあいさつ 支部長 新田 双葉
- 2、会費納入のお知らせ
- 3、東北ブロック講習会準備経過報告
- 4、会員寄稿

1、ごあいさつ

支部長 新田 双葉

会員の皆様にはお健やかに過ごしていただい
たでしょうか。お伺い致します。2004年の幕開けを感慨深くむ
かえました。昨年の当県北を襲った地震とその後の余震、
世界ではテロの頻発、不気味な病気の発生と不穏な動き
の多い年明けとなりました。

さて、助産師会の活動については機関紙でその折に触
れてお知らせしている訳ですが、会員の皆さまのご協力
により、今まで以上に活発に活動出来たのではないかと
思っております。内容的には宮城県委託研修会の3回に
渡っての実施、2年目の子育て・女性健康センターの常
時開設、助産師の日のイベント、性教育研修講師派遣、
ばい2相談室の開設（仙台市の助成事業）、講演会の実
施と盛りだくさんでした。

助産師会の全国大会、北海道・東北ブロック研修会も
各々4～5名の参加がございました。開業助産師部会も
マップを作成し広報活動に動きだしました。会員の皆様
はそれぞれ個人的には本業があってそれをこなしながら、
尚、会の活動に力を注いでおる訳です。基礎作りに



3年かかりました。これからは正念場です。相談業務に
関しましても大変重要な役割を担っておる訳です。是非
しっかり研修して対応できる力を付けて貢献してい
きたいものです。

会員相互の親睦も大切な会の役割と思っております。
共に励まし合い会の発展に尽くすよう努力致しまし
ょう。

16年度は北海道・東北ブロック研修会の当番県にな
っております。またまた皆様方のご協力で成功させたい
と願っております。どうぞお気づきの点等ありましたら
ご連絡頂ければ幸いです。実施は9月25日、26日を
予定しており、役員会、理事会でその準備に入っており
ます。

年頭の挨拶というよりも、1年の経過報告になってし
まいましたが、今年も会員の皆様のご健康で活躍されま
すようにお祈り申し上げます。



2、会費納入のお知らせ

年会費納入の時期となりました。自動引落としの手続きがお済の会員は、2月23日に指定口座より、本部会費10000円+支部会費4500円が引き落とされました。口座記録の確認をお願いいたします。

自動引落としの手続きをなさっていない会員には、今回、郵便振替用紙を同封しています。3月20日までに14500円をお振込みください。

なお、会員登録事項に変更がある方は、すみやかに変更届を本部・支部ともにご提出ください。用紙は、毎号の機関紙「助産師」に綴じこまれています。

3、北海道・東北ブロック講習会 準備経過報告

今年は、当宮城県支部が「北海道・東北ブロック講習会」の当番県です。毎月の役員会のたびに検討が重ねられています。開催は平成16年9月25日(土)26日(日)の予定です。

これまでは、宿泊からオプションの観光ツアーまでお世話するのが通例でしたが、宿泊等は参加者各自にお任せし、シンプルに講習会と懇親会のセッティングだけ準備して行こうという方針です。それでも、7道県より参加者をつのる大きな企画とあって、準備は会員の皆様のご協力なしには進みません。力を合わせて成功させましょう。

4、会員寄稿

助産院移転しました



とも子助産院 伊藤朋子

平成12年5月に泉区七北田で開業し今年は4年目を迎えます。昨年暮れに、自宅兼助産院を移転しました。今度の場所は、田んぼの中にポツと建って、目立つせいか予約制にもかかわらず、突然ピンポンする方が増えました。「助産師のケアを受けたくて探しに探してやって着ました！」という方がこれまでの主流でしたが、引越後お会いするようになった「ちょっと寄ってみまし

た。」という妊婦さんたちは、助産所と病院の違いや、助産師についてほとんどご存じないのです。いまさらながら、軽いショックを受けています。産婆と呼ばれていた時代の先輩達の偉大さを思います。助産師って、何する人なのか? 「みやぎ助産師MAP～開業助産師編～」も発行されました。地域での助産師活動の認知が上がってほしい。もっと助産師を活用してほしいと思います。

昨日2月20日の新月の夜、開業103人目の赤ちゃんが、元気にうぶごえを上げました。たまらない緊張とホッとする喜び。癖になります。「当たり前に行っていたら、事故は起きないよ。」という先輩方の言葉を信じて、これまでできました。好きでたまらないことに、四六時中浸ってられるのは、お産オタクにとって、幸せそのものの。

助産師会だけでも
会計、胎盤事業、機
関紙係、ブロック講
習会係、開業部連絡
係と5役。その他、



うぶごえ座(性教育チーム)、ヨガクラス、妊婦ゴスペル隊と本業以外のことにも手を広げ、ちょっと抱え込みすぎの状態。助産院移転作業も、もともと整理整頓が苦手ということもあり、思いのほか大仕事でした。いろいろな方のお力を借りながら、どうにかやっています。アイディアだけ先走って、能力と時間がともなわず、ご迷惑をお掛けすることも、しばしば…。開業してから、多くの出会いと人様の厚意に感謝することばかりです。

お近くにおいでの際はどうぞ、お寄りください。

仙台市泉区野村字野村95-6 TEL022-772-5960

社団法人 日本助産師会 宮城県支部
〒985-0822 宮城郡七ヶ浜町汐見台南1丁目1-5
支部長 新田 双葉 TEL Fax 022-357-6562
